

発言No.

18

受付No.

4

令和3年11月18日

8時 54分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 18番

氏名 佐々木 豊治

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 「住みたい、住んでよかった」と言われる浜田づくりについて

(1) 今後の市政運営について

① 今回の市長選において、久保田市長は市民から3選の支持を受けたものの、一方で、厳しい評価も下されたのではないかと伺う。

しかし、所信表明からは、この4年間、広い分野で市民福祉の向上の取組がなされてきたことが記されており、着実な市政運営に取り組まれたと理解する。

取組が市民になかなか伝わらないこともあると思うが、3期目の市政運営については、市民に対してより丁寧な説明、そして市民の声をより聴いていく姿勢などが求められてくると伺う。

市長3期目の運営について、市民に対し、どのような姿勢で臨まれるのか伺う。

② 高齢化や環境の変化などから、市民生活が困難になりつつある状況をよく伺う。移動手段の確保や草刈りの担い手、イノシシなど有害鳥獣被害対策、コロナ禍で経済的に厳しくなっておられる方々への支援など、市民生活を支援する施策をもっと充実させるべきと思うが所見を伺う。

- ③ 来年度から交通手段の確保対策として「あいのりタクシー事業」が始まる。基本的に市内に限りタクシーにあいのりして利用すると、基本500円で利用できる事業で、すでに市民からは多くの期待も寄せられていると感じている。多くの市民の移動手段をつくるため、実施主体の地区まちづくり委員会への働きかけをはじめ、市としてどのように取組んでいくのか伺う。

(2) 歴史文化保存展示施設整備事業について

- ① 歴史文化保存展示施設整備事業について、以前「郷土資料館の建て替え」という位置付けとの表明が市長からあり、その意味合いのもと、事業が進められていると思う。

しかし、最近、市民からは「ハコモノはいらない」との声が強くなってきていると感じているが、市長の認識を伺う。

- ② 事業名を「浜田郷土資料館建て替え事業」と変えて取組むことは考えられないか伺う。

2. 通学支援について

(1) 第四中学校統合に伴う支援について

- ① 令和6年度から第四中学校が第三中学校に統合される計画案が示されたことにより、今年度から、美川小学校から第四中学校へ入る生徒が非常に少なくなっている。

教育委員会の認識と、どのような問題意識をもっているのか伺う。

- ② 第三中学校へ通学する生徒が今後も多くなっている現状から、第四中学校から第三中学校の通学バスを検討する必要もでてきたと思うが、通学バスについて前倒しで検討できないか伺う。

- ③ このまま、第四中学校に入る生徒が少ない状況が続くと、統合を一年早めることも検討する必要があると思うが所見を伺う。

(2) 校区外に通学する生徒の支援について

- ① 校区外に通学している生徒について、やりたい部活があるから希望して校区外通学する場合もあると思うが、いじめなど様々な状況により、仕方なく他の学校に通わざるを得ない生徒もいると思う。校区外通学の実態について伺う。
- ② 校区外通学は基本的にその家庭で送ることが基本であると思う。しかし、いじめなどにより、校区外に通わざるを得ない生徒について、その通学する距離が遠方である場合、何らかの支援を行うべきと思うが所見を伺う。